

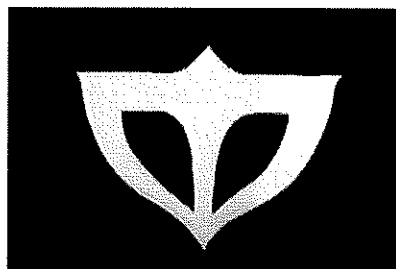
【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 心から 笑顔で すごせる 学校に!
- 2 最大の 教育環境 教職員
- 3 気を付けて 一人に対応 落とし穴

不祥事根絶のための行動計画

呉市立阿賀中学校
作成責任者 校長 湊 和昭

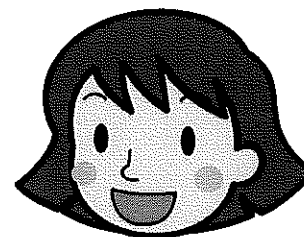
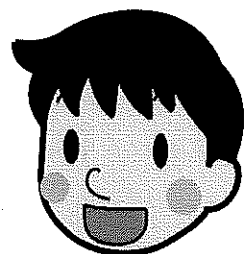
区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<p>○服務研修において、通知等の伝達が中心となりがちである。</p> <p>○管理職からの資料提供や指導講話が多い。</p> <p>○教育公務員としての自覚を高める必要がある。</p>	<p>○服務研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。</p> <p>○教職員で分担し、主体的に研修を行う。</p> <p>○職責を深く自覚し、自らを厳しく律する。</p>	<p>○全ての教職員を対象に服務研修に係る聞き取り調査を行い、方法や内容等を改善する。</p> <p>○いつも自分の周りで不祥事があるという想定で研修に取り組む。</p> <p>○セルフチェックを取り入れた研修をする。</p>	<p>○服務研修後の不祥事防止委員会で、効果を検証する。</p> <p>○チェックリストを活用する。</p>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<p>○ともすれば教職員個人の自覚に委ねられている。</p>	<p>○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。</p> <p>○校内の情報を共有できる工夫を行いチームで職責を遂行する。</p>	<p>○学年会や各委員会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。</p> <p>○学年会や校務分掌において、チームで職務を行う体制をつくる。</p>	<p>○月に1回、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。</p>
相談体制の充実	<p>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初のみであり、認知度が低い。</p>	<p>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。</p> <p>○スクールカウンセラー等と連携し、相談する体制を作り、気軽に相談できるようにする。</p>	<p>○学校だよりで周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員、教育委員会等の窓口も明示する。</p> <p>○相談窓口の案内プリントを配付するとともに、PTA 役員や保護者から体罰、セクハラについて聴取する。</p>	<p>○学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。</p> <p>○学期末懇談会で聴取し、管理職に報告する。</p>



教育の原点

呉市立阿賀中学校

子どもたちは、
私たちの姿を見て
育ちます。



呉市立阿賀中学校の決意表明

- 1 心から 笑顔で すごせる 学校に！
- 2 最大の 教育環境 教職員
- 3 気を付けて 一人に対応 落とし穴